

ある高校生が 送る、名言じ

Yuki
Kannagi

恋は確立

ある時、自分が恋愛をしているのか不安になっている女の子に出会った。

その子は、何故か私に相談してきたのでこう答えてみた。

「もし、恋愛しているのか分からないとき。自分が気になっている人の好きな部分を思い浮かべてみて。

それで一番最初に思い浮かべた人に〇〇さんは恋をしているんだよ」

後日、彼女は彼氏を作って笑みを浮かべていた。

ちょっとカッコつけた言葉が本当に彼女を救っていたことにビックリした。

伝えたい

ある時、見るからに恋愛奥手の女の子にいきなり話しかけられた。
最近買った、恋愛運上昇のお守りが効いたのかと思ったが、違った。
彼女が言うには好きな人に思いを伝えられないのだという。
その時私は、

「自分の意思を伝えられないのは弱さじゃなくて不安。本当にこの人は……って自分が好きでいるのに
好きな部分が見出せなくなってる。自分が心からこれだけは！ って言う部分を伝えれば、後からどん
どん伝えたいことが伝わっていくから」

そう言うと、彼女は「好きだって絶対思ってる」と言う。
その後は、彼女なりに思いを伝えたいらしい。

この先

私がまだ中学生の頃、彼氏持ちの女友達からメールが届いた。内容は、
「彼氏が最近冷たくなってきた。でも私は彼の事大好きだから、ずっと一緒に居たい。
この先、どうすればいいのかな？」

そんなもん自分で考えろ！ と内心思いつつも、いつものクセで名言返信。

「君が好きで居るなら問題ない。ただ、恋はストーブと違って温度を保ったり上げたりすることは決して容易い事じゃないけど、そろそろ、彼を愛してみたら？」

その数分後に「訳分らないww」などと返されたがそれは無視する。

次の日、学校で例のカップルがアツアツと聞いた。

なんだか、ちょっとだけ嬉しい気がした。

大人の責任

僕の言葉に感化された男友達から紹介された大学生の女の人の話を聞いた。
彼女は少し前に告白されたらしいのだが、付き合うのが初めてで、何かと不安を感じているらしい。

人生経験の少ない私が返した言葉は、

「大人としての責任を考えているんですよね？ だったら、いっそのこと子供みたいな甘えるような恋人で良いじゃないですか」

後日、友達から関係良好の言伝を得た。

私は大人になれているのだろうか。

連愛

最近、彼氏との関係がメールのみになっている女子高生の悩みを聞いた。
何でも学校が違うらしく、彼に迷惑ではないかと不安でデートにもいけていないらしい。
とりあえずの返事は、

「貴女がそんな風に悩んでいるとき、同じように彼も悩んでいると思う」

その後、図書館にいった帰り、駅前で手を繋いでいるその子を見かけた。

心の距離

前述の大学生の先輩から悩める子羊を助けてくれと連絡が入った。

その人に会ってみると、常に携帯を気にしてマトモに返事すら返ってこなかった。

先輩に聞いてみると、彼女は遠距離恋愛中で、少しでも返事が遅いと不安で夜も寝れないと言う。

仕方なく、紙に書置きしてその場を去った。

「貴女が不安になっているのは肉体距離と心の距離が離れることを恐れているから
彼を心から思っているなら、まず信じてみてください。彼のことを」

その数週間後に先輩から「Thank you」のメールが届いた。

カッコつけが良い結果をもたらすこともある。

最近、ツイッターやフェイスブックなどで簡単に多くの人々と交流できるようになった。そんな人の中には実際に会う人も居るのだという。そんな人たちに僕が思った事は

「見えない事が幸せな時もある。たとえ相手が信用のできる相手でも」

その一つの小さな世界を超えるのはほどほどに。

友達が居ない

最近、家に引きこもって友達居ないとか嘆いてる人が居るらしい。とりあえず慰めよう。

「友達が居ないと思っている人へ、あなたと仲良くなりたい人が必ずいます」

あまり、慰めになってないかも……

タイムトラベル

過去に戻りたいと思っている人たちへ。
必ずしも共感できるか分からない言葉を送ります。

「明日を決めるのは自分だ。だから、過去に戻りたいって事は、これから来る未来を
否定することになる」

叩かれそうで怖い

これから来る未来

これからやってくる未来は、明日に繋がっていて今が過去になる。

「過去に犯した罪は、これからの自分が償える。たとえそれが世界を揺るがす大罪であっても。なぜなら、時間はそのために流れているから」

What you are dream?

夢は大きく！ 何て言うけど実際そうでもない気がした。

「叶えられる見込みのないほど大きな夢よりも、友達を笑顔にするっていう位
小さな夢で良いんじゃないかな？」

新しく

時間は進んでいる。だから新しいものが生まれ、不便になる。

「今までやり易かったもの、使いやすかったものがあったとしても、いつかは違うものが生まれる。仮にそれが不便なものであっても、自分の力で使いやすくすれば良い。それが成長でもあるんじゃないかな？」

ありがとうございました

こんな戯言に付き合ってもらい、本当に感謝しています。

私が最後に送る言葉は、

「心からの言葉とは何気ないときに言う『ありがとう』だよ」

こんなことを考えながら日々を送っています。

本当にありがとうございました。